

この度の被害にあわれたみなさまに、心よりお見舞い申し上げます

# 水害後の家屋への適切な対応

## 1.床下を確認する(床はがし)

床下浸水でも必ず確認することをお勧めします

### 和室の場合

- ・畳の下にある板をはがす。
- ・板は無垢材なら洗浄して陰干しすれば再利用可能。
- ・どの部屋の何番目なのか「印」をつけてから外す。

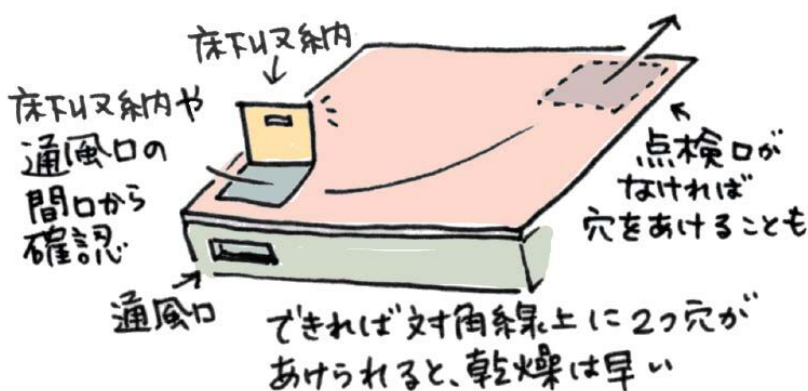


#### ★特に注意すること

- ・サッシや敷居の下に潜り込んでいる板は無理に外さない
- ・一部切断する場合は、根太の中心で切ると再利用可能
- ・根太は切らない、どうしても切る場合は、大引きの中心で切る

### 洋室の場合

- ・床下収納、点検口を開ける。
- ・床下に水や泥があれば除去。
- ・点検口などが無い場合は、工務店などで作ってもらう。  
(相場は2～3万円)



#### ★特に注意すること

- ・自分で点検口をつくる際は正方形（一辺60cm未満）に開ける。
- ・貼り合わせのフローリングは、長持ちしない可能性が高い。
- ・もぐって作業する場合は、換気に注意して必ず複数名で行う

←点検口を作成して  
床下の確認と乾燥



床下がプール状態  
のことも→



# ここも忘れずに！ 通風口の見えない基礎の確認



この部分に泥等が詰まっていると床下の空気が滞留する

## 2.壁材を撤去する

浸水ラインから  
20～30cm上まで撤去する

### 石膏ボードの場合

- ・ カッター等で切れ目を入れて剥がす。
- ・ 半分以上濡れていたら一枚分全部廃棄する。
- ・ 濡れていないボードは残す。



石膏ボードの裏に大量のカビが生えていることも↓



### 土壁の場合

- ・ 再度土壁にする際は、その土が利用できる。  
→小舞（内側の格子状の細い骨組み）は残す。
- ・ 貫（45cm間隔ほどで組まれている骨組み）は基本残す。
- ・ 石膏ボードにする場合は、小舞は撤去する。

### 断熱材の対応

- ・ グラスウール（わた状のもの）は廃棄する。
- ・ スタイロフォーム（スチロール板状のもの）は洗えば使える場合もあり。



浸水したグラスウール

# 3.消毒する

まずは洗浄が重要。泥を落としましょう

有機物（泥など）が付着している状態での消毒は効果が下がります  
家の構造物は泥を落として（洗い流して）から消毒します

## 主な消毒方法について（出典：厚労省「浸水した家屋の感染症対策」）

薬液の濃度や用法など消毒薬は、薄めて（希釈して）使用するものがあります。  
使用上の注意事項を確認してから使用しましょう。

- 汚染の程度がひどい場合、長時間浸水していた場合は、できるだけ次亜塩素酸ナトリウムを使用する。
- 対象物が、色あせ、腐食などにより次亜塩素酸ナトリウムが使用できない場合は、消毒用アルコール、塩化ベンザルコニウムを使用する。

| 消毒薬                                 | 対象と使い方                                                                                                 |                                                                                                                                   |
|-------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                                     | 食器類・流し台・浴槽                                                                                             | 家具類・床                                                                                                                             |
| <b>次亜塩素酸ナトリウム</b><br>(家庭用塩素系漂白剤でも可) | <b>0.02%に希釈する</b><br>①食器用洗剤と水で洗う。<br>②希釈した消毒液に5分間漬けるか、消毒薬を含ませた布で拭き、その後、水洗い・水拭きする。<br>③よく乾燥させる。         | <b>0.1%に希釈する</b><br>①泥などの汚れを洗い流すか、雑巾などで水拭きしてから、十分に乾燥させる。<br>②調整した液を浸した布などでよく拭く。<br>③金属面や木面など色あせが気になる場所は、水で2度拭きする。                 |
| <b>消毒用アルコール</b>                     | <b>希釈せず、原液のまま使用する</b><br>①洗剤と水で洗う。<br>②アルコールを含ませた布で拭く。<br>※70%以上のアルコール濃度のものを使用すること<br>※火気のあるところでは使用しない | <b>希釈せず、原液のまま使用する</b><br>①泥などの汚れを洗い流すか、雑巾などで水拭きしてから、十分に乾燥させる。<br>②アルコールを含ませた布で拭く。<br>※70%以上のアルコール濃度のものを使用すること<br>※火気のあるところでは使用しない |
| <b>10%塩化ベンザルコニウム</b><br>(逆性石けん)     | <b>0.1%に希釈する</b><br>①泥などの汚れを洗い流すか、雑巾などで水拭きしてから、十分に乾燥させる。<br>②調整した液を浸した布などでよく拭く。                        | <b>0.1%に希釈する</b><br>①泥などの汚れを洗い流すか、雑巾などで水拭きしてから、十分に乾燥させる。<br>②調整した液を浸した布などでよく拭く。                                                   |

参考：日本環境感染学会 一般家屋における洪水・浸水など水害時の衛生対策と消毒方法

## 消毒方法

### ★噴霧する

（消毒用アルコール・ベンザルコニウム溶液）

噴霧器や霧吹きで吹き付ける。

→基礎や拭くことが困難な箇所

※次亜塩素酸ナトリウムは噴霧しないこと

### ★拭く(雑巾などで)

消毒薬を布に浸して固く絞り、木の部分、手が届く部分を拭く。

↓噴霧器で消毒



必ずマスク等の保護具を着用してください

## 4.乾燥させる

家の大敵は「湿気」です

洗浄、消毒のあとは、徹底的な乾燥が必要になります  
乾燥には最低**1カ月以上かける**つもりで、十分に乾かします



強力な風を送りたい時は…

### 【乾燥のポイント】

- ★晴れた日は窓を開けて、外の空気を取り込みましょう。
  - ★床下の点検口などを開け、できるだけ外気を床下に送り込むようにしましょう。
  - ★灯油は燃焼時に水分を発するので使用は控えましょう。
  - ★換気扇も活用しましょう。
- 湿った空気が留まらないように、空気を動かすことが大切です

## カビ対策・対応の方法

### 水害後にカビの発生しやすい場所

- ・カラーボックスなど、木材を圧縮してあるもの
  - ・システムキッチン（特に壁に接している背面の壁側の板 ↓画像参照）
  - ・合材板（ベニヤ板、コンパネ）
  - ・石膏ボードの裏側
- ※これらは交換・廃棄をお勧めします
- ・水分（湿気）の多い場所
  - ・風通しの悪い場所



### カビの発生条件

**温度** ・ **湿度** ・ **栄養**（カビが繁殖しやすい成分）

カビ対策の極意 ➡ とにかく換気 とことん**乾かす**